

文京学院大学経営学研究科特別講演会

「組織活性化をめざして～コーチングアワセルブズの展開～」

(講師: Kentaroffice代表 元富士通マーケティング取締役 飯島健太郎氏)

日時: 2017年8月26日(土)15:00-16:30

場所: 文京学院大学本郷キャンパス(B館8階ウイングホール)



写真左はミンツバーク教授、右は飯島氏

コーチングアワセルブズは、マギル大学のヘンリー・ミンツバーク教授の考え方をベースに、娘婿のフィル・オニールが展開。

組織の活性化は企業にとって大きな課題です。特に、年功序列、終身雇用が崩れる中で、組織の横の連携を取っていくのは容易なことではありません。

コーチングアワセルブズという手法を日本ではじめて取り入れ、富士通グループ各社で展開してこられた飯島健太郎氏に、そのポイントをご説明いただきます。

他導入先(日本): 日産自動車、日本たばこ、武田薬品など60社。

コーチングアワセルブズは、全部で30回のプログラム、月3-4回程度実施。1回は75分)

導入の目的:

- ミドル・マネジャーのマネジメント力向上
- 組織間の交流促進
- 経営学の理論のエッセンスを習得

導入の効果:

- マネジャーを中心とした組織の活性化
- マネジメント力と組織間連携の強化
- 個人の変革から組織力強化へ